

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月29日

上場会社名 山田コンサルティンググループ株式会社

上場取引所 東

 コード番号 4792 URL <http://www.yamada-cg.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 山田 淳一郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 谷田 和則

TEL 03-6212-2500

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	5,621	14.1	1,320	28.1	1,387	36.0	1,386	143.4
25年3月期第3四半期	4,925	12.8	1,030	13.3	1,020	28.3	569	35.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,483百万円 (148.7%) 25年3月期第3四半期 596百万円 (46.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	287.46	285.60
25年3月期第3四半期	118.55	118.15

(注1) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

(注2) 平成26年3月期第3四半期の経常利益と四半期純利益が概ね同額となっている理由につきましては、添付資料P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%		
26年3月期第3四半期	7,901		7,138	89.7		円 銭 1,469.75
25年3月期	7,668		6,159	78.5		円 銭 1,254.35

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 7,094百万円 25年3月期 6,027百万円

(注) 当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。1株当たり純資産については、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定し算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	1,500.00	—	3,500.00	5,000.00
26年3月期	—	3,500.00	—		
26年3月期(予想)				35.00	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成26年3月期(予想)期末配当金については、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株を100株に分割する株式分割を考慮した額を記載しております。

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	7,400	9.3	1,590	14.0	1,610	12.0	1,550	98.5	円 銭 321.37

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成26年1月29日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 一社 (社名) 、 除外 2社 (社名) キャピタルパートナー・二号投資事業
 有限責任組合、MTS投資事業組合

(注)詳細は、添付資料P.4「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	4,974,000 株	25年3月期	4,974,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	147,100 株	25年3月期	169,100 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	4,821,765 株	25年3月期3Q	4,801,377 株

(注)当社は、平成25年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績等の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定その他関連事項については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年12月31日）の業績は、売上高5,621,723千円（前年同期比14.1%増）、営業利益1,320,247千円（同28.1%増）、経常利益1,387,482千円（同36.0%増）、税金等調整前四半期純利益1,638,353千円（同60.6%増）、四半期純利益1,386,084千円（同143.4%増）となりました。

なお、経常利益の前年同期比増益率が36.0%であったのに対して税金等調整前四半期純利益での前年同期比増益率が60.6%と大幅に上昇した要因は、当第3四半期連結累計期間はキャピタルパートナー・二号ファンドの投資株式の売却により関係会社株式売却益を250百万円特別利益計上したのに対して、前第3四半期連結累計期間ではそのような特別利益の計上がなかったことによるものであります。

また、税金等調整前四半期純利益の前年同期比増益率が60.6%であったのに対して四半期純利益での前年同期比増益率が143.4%と大幅に上昇した要因は、当第3四半期連結累計期間においては当社子会社間での合併に伴い存続会社が消滅会社から引き継いだ税務上の繰越欠損金に対し繰延税金資産を追加計上したこと等により、その追加計上等がなかった場合に比べて法人税等税金費用計上額が318百万円減少したことによるものであります。

各セグメント別の業績概況は次のとおりであります。

(経営コンサルティング事業)

経営コンサルティング事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高3,977,261千円（前年同期比11.9%増）、営業利益950,705千円（同11.7%増）となりました。

企業再生コンサルティングを中心としたコンサルティング案件の受注状況・加工作業が引き続き順調であったことから、業績は前年同期比増収増益となりました。

(資本・株式・株主に関するコンサルティング事業)

資本・株式・株主に関するコンサルティング事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高674,828千円（前年同期比49.4%増）、営業利益167,827千円（同219.3%増）となりました。

ファイナンシャルアドバイザー業務、バリュエーション業務の案件受注が順調であったこと、及び大型コンサルティング案件を売上計上できたことから、業績は前年同期比増収増益となりました。

(不動産コンサルティング事業)

不動産コンサルティング事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高376,769千円（前年同期比1.4%増）、営業利益94,195千円（同0.7%増）となりました。

不動産仲介案件及び不動産有効活用を中心としたコンサルティング案件の積み上げにより、順調な業績を確保することができました。

(F P 関連事業)

F P 関連事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高440,100千円（前年同期比19.4%増）、営業利益39,682千円（前年同期は2,659千円の営業利益）となりました。

確定拠出年金導入企業に対するD C 関連研修の受注が順調であったことから、業績は前年同期比増収増益となりました。

(投資ファンド事業)

投資ファンド事業の当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高260,177千円（前年同期比10.6%減）、営業利益66,584千円（同123.5%増）となりました。

事業承継ファンドのキャピタルソリューション番号ファンドにおいて、投資先2社の株式売却により営業利益を確保することができました。

(注) 上記の各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高107,413千円（経営コンサルティング事業54,695千円、資本・株式・株主に関するコンサルティング事業44,942千円、不動産コンサルティング事業1,505千円、F P 関連事業6,270千円）が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

<キャッシュ・フローの状況>

当第3四半期連結累計期間における営業活動、投資活動、財務活動による各キャッシュ・フローの状況とそれらの変動要因は次のとおりであります。

(全体キャッシュ・フローの概要)

現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、法人税等の支払額421,727千円、その他の負債の減少額224,125千円、投資有価証券の取得による支出313,942千円、配当金の支払額316,594千円、短期借入金の純減額250,000千円、少数株主への分配金の支払額183,372千円等の資金減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益が1,638,353千円あったこと、売上債権の減少額64,539千円、投資有価証券からの分配による収入24,443千円があったこと等から27,797千円の資金増(前年同期は375千円の資金減)となりました。その結果、当第3四半期連結会計期間末の資金残高は3,521,303千円になりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における営業活動による資金の増加は、834,130千円(前年同期は423,490千円の資金増)となりました。

これは、法人税等の支払額421,727千円、その他の負債の減少額224,125千円、その他の資産の増加額172,043千円等があった一方で、税金等調整前四半期純利益が1,638,353千円あったこと、売上債権の減少額64,539千円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、16,142千円(前年同期は64,268千円の資金減)となりました。

これは、関係会社株式の売却による収入268,870千円、投資有価証券からの分配による収入24,443千円等があった一方で、投資有価証券の取得による支出313,942千円(余剰資金運用としてのアメリカ財務省証券の購入)があったこと等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、790,862千円(前年同期は359,931千円の資金減)となりました。

これは、配当金の支払額316,594千円、短期借入金の純減額250,000千円、少数株主への分配金の支払額183,372千円(当社グループ運営ファンドの当社グループ外出資者に対するファンド分配金支払額)、社債の償還による支出55,000千円があったこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

① セグメント別の状況

(経営コンサルティング事業)

当期は過年度に比し第3四半期までに案件の加工作業が前倒しに進捗し売上計上が順調に推移したことから、第4四半期間での売上計上は若干減少傾向にあります。通期は引き続き順調な業績を確保できると見込んでおります。

(資本・株式・株主に関するコンサルティング事業)

経営コンサルティング事業と同様に第3四半期までに売上計上が前倒しに実現したため、第4四半期間は売上計上額が若干減少傾向になると見込んでおりますが、通期では引き続き順調な業績を確保できると見込んでおります。

(不動産コンサルティング事業)

第4四半期は受注済みのコンサルティング案件を確実に完了させることにより、通期は計画数値以上の業績を確保できると見込んでおります。

(FP関連事業)

第4四半期もDC関連研修の受注が順調であること、及びFP企業実務研修の提案等による既存取引先の深掘りを行うことにより、通期は当初計画以上の業績を目指してまいります。

また、相続手続に関するサポート業務につきましては、提携金融機関との強固な連携関係の構築に注力してまいります。

(投資ファンド事業)

キャピタルソリューション壱号ファンドは、引き続き残存投資株式のイグジットを目指してまいります。

キャピタルソリューション弐号ファンド（ファンド総額10億円）は、事業承継問題を抱えている優良な中堅・中小企業をターゲットにし、慎重に投資案件を発掘してまいります。

② 平成26年3月期の通期連結業績予想

投資ファンド事業において前回連結業績予想では見込んでいなかった投資先1社の株式売却が実現できたこと、及び各コンサルティング事業においてそれぞれが順調な業績を確保できる見込みとなったことから、通期の連結業績予想を売上高7,400百万円、営業利益1,590百万円、経常利益1,610百万円、当期純利益1,550百万円に上方修正いたしました。

平成26年3月期の通期連結業績予想

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
修正前	7,000	1,480	1,480	1,430
修正後 (平成26年1月29日発表)	7,400	1,590	1,610	1,550

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、キャピタルパートナー・二号投資事業有限責任組合及びMTS投資事業組合は清算したため、連結の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,493,506	3,521,303
受取手形及び売掛金	577,961	513,422
営業投資有価証券	224,229	881,432
商品及び製品	17,060	19,741
原材料及び貯蔵品	564	354
繰延税金資産	70,122	199,889
その他	215,740	367,070
貸倒引当金	△37,911	△35,811
流動資産合計	4,561,273	5,467,403
固定資産		
有形固定資産	199,986	189,786
無形固定資産		
のれん	1,716	1,594
その他	21,268	19,097
無形固定資産合計	22,985	20,692
投資その他の資産		
投資有価証券	2,211,727	1,687,579
敷金及び保証金	276,905	271,569
繰延税金資産	169,410	38,353
その他	240,568	241,013
貸倒引当金	△17,044	△16,953
投資その他の資産合計	2,881,569	2,221,562
固定資産合計	3,104,541	2,432,041
繰延資産	2,589	1,923
資産合計	7,668,403	7,901,368
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,306	56,144
短期借入金	250,000	—
1年内償還予定の社債	70,000	30,000
未払法人税等	337,404	65,082
賞与引当金	85,619	115,644
その他	636,256	426,724
流動負債合計	1,426,587	693,595
固定負債		
社債	60,000	45,000
繰延税金負債	2,353	6,785
その他	20,183	17,707
固定負債合計	82,536	69,492
負債合計	1,509,124	763,087

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,599,538	1,599,538
資本剰余金	1,518,533	1,518,533
利益剰余金	3,135,391	4,172,248
自己株式	△232,486	△202,239
自己株式申込証拠金	611	—
株主資本合計	6,021,587	7,088,079
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	5,616	4,943
為替換算調整勘定	454	1,343
その他の包括利益累計額合計	6,071	6,286
新株予約権	12,544	7,988
少数株主持分	119,076	35,925
純資産合計	6,159,279	7,138,280
負債純資産合計	7,668,403	7,901,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	4,925,724	5,621,723
売上原価	641,774	758,326
売上総利益	4,283,949	4,863,397
販売費及び一般管理費	3,253,674	3,543,149
営業利益	1,030,274	1,320,247
営業外収益		
受取利息	18,986	27,665
受取配当金	2,338	5,523
為替差益	25,102	34,828
その他	5,270	7,520
営業外収益合計	51,698	75,538
営業外費用		
支払利息	6,473	3,419
投資事業組合運用損	2,858	—
持分法による投資損失	43,222	—
その他	9,366	4,883
営業外費用合計	61,920	8,302
経常利益	1,020,052	1,387,482
特別利益		
関係会社株式売却益	—	250,870
特別利益合計	—	250,870
税金等調整前四半期純利益	1,020,052	1,638,353
法人税、住民税及び事業税	394,321	149,404
法人税等調整額	32,119	6,078
法人税等合計	426,441	155,482
少数株主損益調整前四半期純利益	593,610	1,482,870
少数株主利益	24,366	96,785
四半期純利益	569,244	1,386,084

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	593,610	1,482,870
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,638	△673
為替換算調整勘定	△58	888
その他の包括利益合計	2,580	215
四半期包括利益	596,191	1,483,086
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	571,824	1,386,300
少数株主に係る四半期包括利益	24,366	96,785

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,020,052	1,638,353
減価償却費	27,428	23,695
のれん償却額	6,437	121
持分法による投資損益(△は益)	43,222	—
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△250,870
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△3,177	△2,191
賞与引当金の増減額(△は減少)	9,622	30,024
受取利息及び受取配当金	△21,325	△33,189
支払利息	6,473	3,419
為替差損益(△は益)	△25,102	△34,828
投資事業組合運用損益(△は益)	2,858	△3,999
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	217,096	176,560
売上債権の増減額(△は増加)	34,363	64,539
たな卸資産の増減額(△は増加)	△5,824	△2,471
仕入債務の増減額(△は減少)	4,651	8,838
その他の資産の増減額(△は増加)	39,686	△172,043
その他の負債の増減額(△は減少)	△258,217	△224,125
小計	1,098,246	1,221,833
利息及び配当金の受取額	22,470	37,318
利息の支払額	△6,097	△3,294
法人税等の支払額	△691,129	△421,727
営業活動によるキャッシュ・フロー	423,490	834,130
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△23,493	△16,125
無形固定資産の取得による支出	△11,164	△2,318
投資有価証券の取得による支出	△50,000	△313,942
投資有価証券からの分配による収入	6,413	24,443
関係会社株式の売却による収入	—	268,870
敷金及び保証金の差入による支出	△3,298	△2,157
敷金及び保証金の回収による収入	8,592	2,627
貸付金の回収による収入	11,380	22,500
その他の支出	△2,698	△2,040
その他の収入	—	2,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,268	△16,142
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△250,000
社債の償還による支出	△65,000	△55,000
少数株主からの出資受入による収入	18,992	3,435
自己株式の処分による収入	1,474	12,338
配当金の支払額	△157,567	△316,594
少数株主への分配金の支払額	△155,300	△183,372
その他	△2,531	△1,670
財務活動によるキャッシュ・フロー	△359,931	△790,862
現金及び現金同等物に係る換算差額	335	672
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△375	27,797
現金及び現金同等物の期首残高	3,690,457	3,493,506
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,690,081	3,521,303

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	経営コンサル ティング事業	資本・株式・株主 に関するコンサル ティング事業	不動産コンサル ティング事業	F P 関連事業	投資ファンド 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,516,978	382,956	371,459	363,222	291,107	4,925,724
セグメント間の内部売上高又は 振替高	35,612	68,587	—	5,206	—	109,405
計	3,552,591	451,543	371,459	368,428	291,107	5,035,129
セグメント利益	850,639	52,554	93,519	2,659	29,783	1,029,156

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,029,156
セグメント間取引消去	1,118
四半期連結損益計算書の営業利益	1,030,274

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	経営コンサル ティング事業	資本・株式・株主 に関するコンサル ティング事業	不動産コンサル ティング事業	F P 関連事業	投資ファンド 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,922,565	629,885	375,264	433,830	260,177	5,621,723
セグメント間の内部売上高又は 振替高	54,695	44,942	1,505	6,270	—	107,413
計	3,977,261	674,828	376,769	440,100	260,177	5,729,137
セグメント利益	950,705	167,827	94,195	39,682	66,584	1,318,995

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,318,995
セグメント間取引消去	1,252
四半期連結損益計算書の営業利益	1,320,247

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。